

卵アレルギー患者さんの インフルエンザワクチン接種について

- インフルエンザワクチンは鶏卵を利用して製造されるため、卵アレルギー患者さんへの接種を不安に思う方がいらっしゃると思います。
- ですが実際には卵アレルギー患者さんで、インフルエンザワクチンの副反応のリスクが上がるという科学的根拠はありません^(注1)。
- 世界的にも、卵アレルギーを持つ患者さんにインフルエンザワクチンを打つことに対して特別な対応は必要ないとされています。*(official publication of the American College of Allergy, Asthma & Immunology 2018: 120:49-52)*
- そのため、専門施設での接種の必要性はなく、接種時の観察時間延長や皮下投与をして反応をみるなども必要ありません。また、あらかじめ採血で卵アレルギーの有無について調べる必要はありません。
- 以上の理由から、当院では卵アレルギー患者さんであっても通常と同じようにかかりつけ病院でのワクチン接種を推奨しています^(注2)。

注1) 卵アレルギーの有無にかかわらず、インフルエンザワクチンでは一定の割合で副反応が起きることがあります。過去に重篤な副反応（全身の蕁麻疹や呼吸困難、意識消失、血圧低下など）があった場合には、主治医とよく相談してください。

注2) 当院でも接種を行っているため、もしかかりつけで接種を断られてしまった場合はご相談ください。その場合は紹介状をご準備してください。